

令和4年度「より良い学校づくりをめざして」保護者アンケートの結果

A：そう思う B：どちらかというと思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない
 評定は小数第1位を四捨五入、合計が100%にならない場合もある。 R3年度から「Google Forms」を利用してWEB上で回答

No	項 目	評定					平均点数			考察
		A	B	C	D	E	R3	R4	±	
学校教育目標	1 学校は少人数による授業や複数の教師による指導、休み時間等の指導、長期休業中の指導などを通して基礎的・基本的な知識や技能を身につけた児童を育成している。	45%	43%	4%	2%	6%	3.3	3.4	0.1	・概ねよいという評価をいただいた。各担任を中心に教職員による支援体制を構築し、授業支援を行っている。今後も学習内容の確実な定着に向け、児童一人ひとりの学習状況に合わせた指導・支援が行えるよう努めていきたい。
	2 学校は教材・教具の工夫、意見発表の機会を多くするなどの工夫を通して、思考力・判断力・表現力などの課題を解決する力を身につけた児童を育成している。	43%	46%	3%	1%	7%	3.4	3.4	0.0	・肯定的評価が90%に近い。これからの社会に求められている思考力・判断力・表現力の育成をめざし、今後も日々の授業改善に努めていく。GIGAスクール構想によるICT機器の効果的な活用も含め、教材・教具の工夫も行い、わかりやすい授業、楽しい授業づくりに取り組んでいく。
	3 学校は教育活動の中で児童の良いところをほめ、認めることを通して、学習や課題に意欲的に取り組む児童を育成している。	47%	44%	5%	2%	3%	3.4	3.4	0.0	・肯定的評価が90%を超えている。今後も、児童への発言の価値づけや肯定的評価を行いながら学習の意欲づけを行っていく。
	4 学校は道徳教育をはじめとする教育活動全体を通して、相手を思いやる優しい心や豊かな感性を身につけた児童を育成している。	43%	50%	2%	1%	3%	3.4	3.4	0.0	・今年度の道徳公開授業は、実施を見合わせ、学校開放日に1時間の道徳授業を設定した。考え議論する道徳の授業作りを目指していく。道徳教育は、教育活動全体を通して行っていくことを改めて確認したい。また、お互いの考えを認め理解し合える学級・学校づくりに努め、豊かな感性を持ち多様性を認め合える児童の育成を目指す。
	5 学校は教育活動（授業、日常生活、行事、児童会たてわり活動など）を通して、より良い人間関係を作る力やコミュニケーション能力を身につけた児童を育成している。	48%	42%	5%	1%	4%	3.4	3.4	0.0	・肯定的評価の割合が90%である。授業をはじめ学校教育全体の中で、お互いを認め合えるより良い人間関係づくりに努めている。学級活動や児童会活動、学校行事を通しコミュニケーション能力を伸ばす指導も一層充実させていきたい。
	6 学校は道徳教育をはじめとする教育活動全体を通して、ルールやきまりを守る児童を育成している。	44%	49%	4%	0%	2%	3.5	3.4	-0.1	・肯定的評価が93%と、高い評価をいただいた。居心地のよい学校生活を送るためにも教職員が共通認識のもと、同じスタンスで指導に当たっている。児童会の取り組みもあり、子どもたち同士での声掛けが見られ、意識の高まりが見られた。
	7 学校は日常の指導を通して、基本的な生活習慣を身につけた児童を育成している。	44%	48%	5%	0%	3%	3.5	3.4	-0.1	・肯定的評価が92%となり、高い評価をいただいた。学校生活において基本的な生活習慣を身に付けさせることは大変重要なことである。各学級とも、家庭と連携をとりながら、一層の定着をめざしていきたい。
	8 学校は保健指導や交通安全教育、防災・防犯教育などを通して、健康や安全に気をつけて生活する児童を育成している。	47%	44%	6%	1%	2%	3.5	3.4	-0.1	・高い評価をいただいた。学校の指導重点の一つである「安心・安全な学校」をめざし、安全管理と安全教育という両面から児童の安全確保に努めている。地域の支えとともに、「自分の命は自分で守る」ことのできる児童の育成を継続していく。また今年度は、洪水を想定した避難訓練を計画し、実施をした。
	9 体育や運動会などの行事、遊び、保健教育や食教育などを通して、児童の体力向上が図られている。	43%	47%	7%	1%	2%	3.4	3.3	-0.1	・特に運動能力の持久力・瞬発力向上の育成をめざし、本校では継続的に縄跳び運動に取り組んでいる。感染症の影響により活動の制限があったが、今後も体育の授業をはじめ、休み時間での外遊びなど、運動の機会、運動量の確保を意識し取り組みを進めていきたい。

学校運営他	10	家庭との連絡をはじめ、家庭訪問、個別懇談などを通して、学校と保護者との信頼関係を築くために努力している。	47%	43%	6%	2%	3%	3.4	3.4	0.0	・児童のよりよい発達のためには、学校と保護者の皆様の理解が必要不可欠です。C評価の割合が少なくなるように、今後も、連絡帳や電話等での連絡をはじめ、家庭訪問や懇談の場を活用し、学校と家庭とが更に連携していけるよう努めていきます。
	11	学校は楽しい学校（学級）づくりをしている。	51%	40%	4%	1%	4%	3.5	3.5	0.0	・肯定的評価が92%となり、概ね良いという評価をいただいた。児童が楽しいと思えることが、学校教育活動の基本と捉えている。今後も学級づくりを中心に、教職員が一丸となって居心地のよい楽しい学校を目指していく。
	12	学校は子どものことを理解している。	37%	51%	6%	2%	5%	3.3	3.3	0.0	・C評価、E評価の割合に注目し、改善を図っていく。教師側の児童理解のスキルを一層高めていけるよう校内研修をはじめ自己研鑽に励んでいき、教職員全体で取り組んでいく。
	13	学校には子どものことを相談できる雰囲気がある。	42%	42%	10%	2%	4%	3.3	3.3	0.0	・C評価の割合が相対的に高く、学校の課題として捉えることができる。授業参観や地域の方を招く行事が実施できなかったことも影響していると思われる。児童や保護者の皆様にとり、相談しやすい環境づくり、気持ちに寄り添える環境づくりを大切にしていく。また、スクールカウンセラー等外部の専門家への相談体制も充実させ、チーム西条小として取り組んでいく。
	14	学校は保護者の願いや要望に応えている。	36%	47%	9%	2%	6%	3.3	3.2	-0.1	・点数は-0.1ポイントであり、A評価の割合も低く、課題と捉えていきたい。今後も保護者や地域との連携を密にし、その願いや要望を具体的にとらえていき、信頼に応えられるよう努めていく。
	15	学校・学年だより、ホームページなどで学校のことがわかる。	48%	44%	6%	0%	2%	3.4	3.4	0.0	・肯定的評価が92%となる。学年・学級では丁寧に児童の様子を、また、学校からはおたよりやホームページ、「西条小あんしんメール」を通して行事や取組の様子を中心に、各たよりやブログも活用しながら積極的に情報の発信を行ってきた。今後も、必要とされる情報を精査し、学校教育への理解につながるよう努めていく。
	16	あゆみの学習面や生活行動面の評価は、保護者や児童にわかりやすいものになっている。	51%	43%	4%	1%	1%	3.4	3.5	0.1	・肯定的評価が94%となり、高い評価をいただいた。毎年、評価項目や評価方法等の見直しを行い、授業改善に努め評価にいかしていることの成果と捉えたい。学校から出される「あゆみ」がわかりやすく、児童にとって励みとなるよう一層努めていく。
	17	学校は地域の人材や保護者を学校教育に活用している。	38%	37%	11%	1%	13%	3.3	3.3	0.0	・E評価（わからない）が項目中最も高い割合であった。感染症対策のため、コミュニティ・スクールとしての十分な取組が出来なかった。保護者の皆様への協力はもちろん、地域の人材を児童の教育に効果的に取り入れ、豊かな体験・経験につなげていけるよう今後も取り組みを継続していく。
	18	学校は日頃の学習や行事などの活動を通して地域と連携している。	36%	43%	10%	0%	11%	3.2	3.3	0.1	・項目17同様、感染症の影響で活動が限られてしまった。校区探検・地区探検をはじめ、杉浦醫院の見学等、徐々に活動を広げ、できる範囲で地域内の施設見学を行った。今後も自分の住む地域を知る活動を通して、子どもたちに地域の一員としての意識を育てていく。